

令和5年度 シラバス

学 科 ・ 学 年	全学科		2 年
科 目 名	ビジネス実務Ⅱ・Ⅲ	科 目 区 分	一般科目 ・ 専門科目
開 講 期	前期 ・ 後期 ・ 通年	担 当 教 員	各担任
時 間 数	前期：15時間 / 後期：15時間		
科 目 の 目 的 と 講 義 内 容	<p>日々変化・進歩しているビジネス社会で働く「人材」には、仕事を処理するために必要な専門知識はもとより、基本的な社会常識やビジネスマナー、さらには優れたコミュニケーション能力が必要となってくる。</p> <p>そのために必要な社会常識、ビジネスマナー、コミュニケーション能力の習得を目的とした講義内容を1年次からレベルアップさせることを目的とする。</p>		
目指す検定・資格			
指 導 方 法 及 び 学 生 に 期 待 す る こ と	上記の目的が達成できるように講義と共に一般常識等の確認テストや社会人になるための動機づけ、やりがいなどを具体的に学生に伝えていき、社会人として常識なる人材になれるようにする。		
そ の 他	各学科の業界に合わせ他就職活動に必要な内容も入れる。 人間力向上のための学科行事、全体行事に向けての指導を含む。		
	前 期	後 期	
授 業 の 概 要	1年次で学んだ一般常識、マナーの知識を活かし、さらなる上を目指す。この知識と、今までの授業や実習などで得た知識を活かし、就職活動に挑む強い心を育む。また、社会人としての心構えを身につける。	1年次で学んだ一般常識、マナーの知識を活かし、さらなる上を目指す。この知識と、企業研究で得た知識を活かし、就職活動に挑む強い心を育む。	
到 達 目 標	①自ら即就職活動ができる。 ②社会人として必要なマナー・礼儀を身に付け、早期出社ができるようにする。 ③漢字力・計算力を身に付け活用できる。	①自ら即就職活動ができる。 ②社会人として必要なマナー・礼儀を身に付け、いつでも早期出社ができるようにする。 ③漢字力・計算力を身に付け活用できる。	
成 績 評 価 方 法	定期考査の実施。前期試験比率。 一般常識問題 30% マナー問題 50% 各学科問題 20% 出欠点は総合評価に入れる。	定期考査の実施。後期試験比率。 一般常識問題 50% マナー問題 30% 各学科問題 20% 出欠点は総合評価に入れる。	
テ キ ス ト ・ 副 読 本	テキスト： 「社会常識マナー検定テキスト」全国経理教育協会		テキスト： 「社会常識マナー検定テキスト」全国経理教育協会

令和5年度 シラバス

学 科 ・ 学 年	選択科目 2年		
科 目 名	ビジネスリテラシー	科 目 区 分	一般科目 ・ 専門科目
開 講 期	前期 ・ 後期 ・ 通年	担 当 教 員	菅原洋介、武下浩史
時 間 数	前期：時間 / 後期：16時間		
科 目 の 目 的 と 講 義 内 容	社会人に必要な基本的な法規や考え方、資産運用。教養である一般知能の判断推理・数的推理、資料解釈の基礎力を養成する。		
目指す検定・資格			
指 導 方 法 及 び 学 生 に 期 待 す る こ と	プリントとスライドを用い、社会人として必要となる知能分野での基礎能力の向上を狙いとする。また、自身のライフプラン、資産運用についても教養として身につけてもらう。		
そ の 他			
	後 期		
授 業 の 概 要	<ul style="list-style-type: none"> ・ ビジネスを取り巻くリスクと法律のかかわり ・ 権利関係（民法）の基礎知識 ・ 契約法について ・ 資産運用とは ・ 金融資産 ・ iDeCo と NISA の違い ・ 一般知能分野について ・ 判断推理・数的推理 ・ 資料解釈 		
到 達 目 標	社会人になるにあたり教養、たしなみ、判断力、理解力等を身につける。		
成 績 評 価 方 法	期末考査(90%)、授業態度(5%)、出欠席(5%)		
テ キ ス ト ・ 副 読 本	プリント		

令和5年度 シラバス

学 科 ・ 学 年	全 学 科		2 年
科 目 名	ビジネス英語	科 目 区 分	一般科目 ・ 専門科目
開 講 期	前期 ・ 後期 ・ 通年	担 当 教 員	佐藤 眞佐子
時 間 数	前期： 時間 / 後期：16 時間	実務経験：お茶の水女子大卒業後、地方局正社員アナ。その後全国各地で大学受験生に英語を教える。英語スピーチコンテストでは日英の司会も。トーストマスターズクラブでは英語スピーチ、外国人との英語コミュニケーションの経験も豊富。	
科 目 の 目 的 と 講 義 内 容	グローバル社会が進む中、企業内の標準言語が英語になるなど、ビジネスにおいて英語を使う機会が増えている。ビジネスの場で、簡単な英語が話せる力や、メール文章を書く能力を身に付けることを目的としている。		
目 指 す 検 定 ・ 資 格	特になし		
指 導 方 法 及 び 学 生 に 期 待 す る こ と	国内企業においても、グローバル化し、基本的な英語能力、メールでの文章能力必要となっている。英語が必要となった時に英語がすぐに出るようにしっかり身に付けて欲しい。		
そ の 他	特になし		
	後 期		
授 業 の 概 要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 簡単な英会話でのやりとり ・ メールを簡単な英語で書く 		
到 達 目 標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 挨拶、依頼表現、電話取次を簡単な表現で出来るようになる ・ メールで頻出の表現を使えるようになる 		
成 績 評 価 方 法	期末試験（90%）、出欠席（5%）授業態度（5%）、で評価をつける。		
テキスト・副読本	キクタン英会話（オフィス編）		

令和5年度 シラバス

学 科 ・ 学 年	全学科		1年または2年
科 目 名	医療事務概論	科 目 区 分	一般科目・専門科目
開 講 期	前期・後期・通年	担 当 教 員	矢ヶ崎 忍
時 間 数	前期： 時間 / 後期：15 時間	実務経験：医療機関で約8年間、医事課に所属し各外来・入院受付、会計、診療報酬業務、クラーク業務を担当。	
科 目 の 目 的 と 講 義 内 容	医療機関の役割を知る。 保険証の仕組みを知る。 医療費の簡単な計算方法を知る。		
目指す検定・資格			
指 導 方 法 及 び 学 生 に 期 待 す る こ と	普段利用している医療機関の、お得な利用の仕方や、保険証がなぜ必要なのかを日常生活での利用をイメージさせ理解する。 簡単な医療費の計算方法を知り、請求書の作成をする。		
そ の 他	グループワークを取り入れながら、他学科との交流を楽しむ。		
	前 期		
授 業 の 概 要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域包括ケアシステムの理解。 ・ 医療機関の種類を知る。 ・ 保険証の役割、種類を知る。 ・ 受付の仕事の流れを把握し、カルテの作成を行う。 ・ 年齢や来院時間で医療費の加算があることを知る。 ・ 基本診療料、投薬の計算方法を理解し、レセプトの作成を行う。 		
到 達 目 標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 外来の医療費の計算と、レセプト作成を行う。 		
成 績 評 価 方 法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 前期試験 (95%) ・ 出欠席 (5%) 		
テキスト・副読本	<ul style="list-style-type: none"> ・ プリントを利用 		

令和5年度 シラバス

学 科 ・ 学 年	選択科目			2 年
科 目 名	デザイン入門	科 目 区 分	一般科目 ・ 専門科目	
開 講 期	前期 ・ 後期 ・ 通年	担 当 教 員	藤岡 勝利	
時 間 数	前期： 時間 / 後期：16時間	実務経験：東京のデザイン会社で4年間、フリーランスで15年間イラストレーターの業務に従事した経験を活かし、デザインの基礎からレイアウトテクニックを学習させる。		
科 目 の 目 的 と 講 義 内 容	デザインのレイアウトや基礎を学ぶ。			
目 指 す 検 定 ・ 資 格				
指 導 方 法 及 び 学 生 に 期 待 す る こ と	業務や日常の暮らしの中で活用される、デザインに興味を持ってもらう。			
そ の 他				
	後 期			
授 業 の 概 要	基本的なデザインについての講義。写真、書体、図案などレイアウトについて学ぶ。 パワーポイントを使用してレイアウトについて学ぶ。			
到 達 目 標	良い例、悪い例を比較し、より良い図案を作成する。			
成 績 評 価 方 法	ラフスケッチ (10%)、レイアウト (40%)、規約・要件を満たしているか (40%)、出欠席 (5%)、授業態度 (5%) で評価をつける。			
テ キ ス ト ・ 副 読 本				

令和 5 年度 シラバス

学 科 ・ 学 年	選 択 科 目		2 年
科 目 名	HP 動画	科 目 区 分	一般科目 ・ 専門科目
開 講 期	前期 ・ 後期 ・ 通年	担 当 教 員	鈴置 勝信
時 間 数	前期： 時間 / 後期：16 時間	実務経験： 平成元年より 3DCG 制作業務に従事。独立後に 在阪 TV 局での番組映像制作の傍ら専門学校や 大学にてマルチメディア系講義を行う。	
科 目 の 目 的 と 講 義 内 容	ホームページや動画制作を通じて、デザインの基礎知識や撮影テクニックを学び、制作物を通じて、自分の想いを形にできるスキルを身につける。		
目 指 す 検 定 ・ 資 格			
指 導 方 法 及 び 学 生 に 期 待 す る こ と	ホームページ制作サービスの Wix や動画編集ソフトを使用し、デザインが身近で誰にでも活用できるものだと知る。		
そ の 他			
	前 期	後 期	
授 業 の 概 要		自己 PR の内容からセルフプロデュースの 観点から	
到 達 目 標		完成した作品を通じて自己 PR プレゼンを行えるようになる。	
成 績 評 価 方 法		制作物 (90%)、授業態度 (5%)、出欠席 (5%) で評価をつける。	
テ キ ス ト ・ 副 読 本			

令和5年度 シラバス

学 科 ・ 学 年	全学科		
科 目 名	選択科目 (音 楽)	科 目 区 分	一般科目 ・ 専門科目
開 講 期	前期 ・ 後期 ・ 通年	担 当 教 員	柳井 由美子
時 間 数	前期：時間 / 後期：15 時間	<p>実務経験：保育園勤務39年、在職中、子どもの心の育成について実践、研究をする。保育実践論文(日本放送協会、ソニー教育財団)で文部大臣賞、優秀賞を受賞。世界協力機構(JIC)の依頼を受け公開保育実施。</p> <p>その他 TV、R、教育雑誌等で実践発表。</p> <p>園長経験や実務経験を活かし、子どもの心の読み取り方・内面理解の大切さの習得及び保育士としての人間性の豊かさ人間力の育成を図る。</p>	
科 目 の 目 的 と 講 義 内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽に接することで異文化に触れることができ、自分とは違う価値観や世界観が広がり深まる。 ・「音楽に国境はない」すばらしさに体験を通して感じる。 ・日本に伝わる四季折々の歌や世界に広がる歌を楽器演奏や身体で表現し感性を豊かにする。 ・音楽を通じて他学科と交流をする中で、人間関係の幅を広げる。 ・自分の特技とすることを発揮し、相手の良さを認め合いながら一つの曲を全員で完成させていく喜びを味わう。 		
目指す検定・資格	特になし		
指 導 方 法 及 び 学 生 に 期 待 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ・4、5人のグループの中で、一人ひとりの個性、持ち味を活かしながら明るく伸び伸びと音楽的感性を磨く ・合奏を作りあげた達成感、満足感を味わう 		
そ の 他			
	後 期		
授 業 の 概 要	<ul style="list-style-type: none"> ・グループ合奏 ・ 威風堂々合奏 ・日本の歌(童謡、唱歌)、世界の歌 		
到 達 目 標	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽を通して人とのつながりを広げ、深めより良い人間関係、人間力を身につける ・音楽的感性を磨き、楽器で表現する 		
成 績 評 価 方 法	表現力(60%) 課題レポート(25%) 協調性(10%) 出欠(5%)		
テキスト・副読本	多種多様の楽譜		

令和5年度 シラバス

学 科 ・ 学 年	全学科		1年または2年
科 目 名	RPA 実習	科 目 区 分	一般科目 ・ 専門科目
開 講 期	前期 ・ 後期 ・ 通年	担 当 教 員	妹尾 潤
時 間 数	前期： 時間 / 後期： 15 時間	実務経験：情報系大学卒業後、システムエンジニアとして、上流工程から下流工程、運用フェーズと幅広く従事した経験を活かし、実習指導を行う。	
科 目 の 目 的 と 講 義 内 容	作業自動化ツールである RPA(Robot Process Automation)の構築を題材に、プログラムの思考力を養う。		
目 指 す 検 定 ・ 資 格	特になし		
指 導 方 法 及 び 学 生 に 期 待 す る こ と	プログラミング技術の向上ではなく、業務の自動化を目的としたツールなので、事務作業やパソコンの作業を自己分析できるスキルの獲得と、ローコードツールの特徴を理解することを目的とします。パソコンの基本的な操作ができれば、人の作業を代行することができることの理解を進めることを期待します。		
そ の 他			
	前 期	後 期	
授 業 の 概 要		Microsoft の Power Automate Desktop を使って実習を重ねながら RPA の理解する。	
到 達 目 標		事務作業の分析を行い、Power Automate Desktop に手順を登録して、実際に作業の自動化を行えるまでのスキルをつける。	
成 績 評 価 方 法		レポート (90%)、授業態度 (5%)、出欠席 (5%) で評価をつける。	
テ キ ス ト ・ 副 読 本		教科書なし。プリント対応	

令和5年度 シラバス

学 科 ・ 学 年	全学科		1年または2年
科 目 名	Excel・データ分析	科 目 区 分	一般科目
開 講 期	後期	担 当 教 員	鳴坂 圭介
時 間 数	前期： 時間 / 後期：15 時間	実務経験：	
科 目 の 目 的 と 講 義 内 容	Excel の実務的な使用場面を想定して、機能の理解をはじめ、レイアウトの作成、各関数の使い方などを理解できるようにする。 また Excel を活用したデータの分析方法についてもアドインツールを駆使し、簡単な分析が行えるようにする。		
目指す検定・資格			
指 導 方 法 及 び 学 生 に 期 待 す る こ と	演習を通じて、実務的な操作方法を身につける。		
そ の 他			
	前 期	後 期	
授 業 の 概 要		<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートやブックの作成と管理 ・セルやセル範囲の作成 ・テーブルの作成 ・数式や関数の適用 ・グラフやオブジェクトの作成 ・プリントアウトを意識したレイアウトの作成 ・アドインを用いたデータ分析 	
到 達 目 標		<p>Excel を使って、資料作成を行うことができるようになる。</p> <p>基本的な関数を使用して、入力用のフォームを作成することができるようになる。</p> <p>Excel アドインツールを使用したデータの分析が行えるようになる。</p>	
成 績 評 価 方 法		期末試験 (50%) 提出物 (45%) 出欠席 (5%)	
テ キ ス ト ・ 副 読 本			

令和5年度 シラバス

学 科 ・ 学 年	全学科		1年または2年	
科 目 名	ペン字上級	科 目 区 分	一般科目	専門科目
開 講 期	前期 ・ 後期 ・ 通年	担 当 教 員	三宅 佳与	
時 間 数	前期： 時間 / 後期：16 時間	実務経験：		
科 目 の 目 的 と 講 義 内 容	前期又は1年次に楷書できちんとした美しい文字を修得した者が、日常生活に役立つ行書（美しいつづけ字）を学ぶ。行書のルールを覚え、一筆箋、封筒、年賀状、のし袋（筆ペン）を書いてみる。			
目指す検定・資格				
指 導 方 法 及 び 学 生 に 期 待 す る こ と	書き込み式のテキストの使用。行書のポイント、ルールの解説。反復練習したものを個別指導により上達をはかる。日常生活に役立つ課題で、楽しく学び続けることを期待する。			
そ の 他				
	後 期			
授 業 の 概 要	行書（つづけ字）のルールを解説し、美しい大人字のポイントをおさえ、反復練習する。ひらがな2字、漢字のつづけ方を理解し、一筆箋、封筒、葉書を美しく書く方法を学ぶ。のし袋を筆ペンで書くことも学ぶ。			
到 達 目 標	<ul style="list-style-type: none"> 正しい字形を学び、行書のルールを身につけ、美しい行書を覚える。 ひらがなの連綿（つづけ方）をマスターして、「大人字」のグレードアップをはかる。 一筆箋、封筒、年賀状、のし袋、手紙等の書式を覚え、美しく書く。 			
成 績 評 価 方 法	<ul style="list-style-type: none"> 一筆箋（50%）、封筒（10%）、ハガキ表（10%）、ハガキ裏（10%）、のし袋（筆ペン）（10%） 授業態度・出欠（5%）、感想（5%） 			
テ キ ス ト ・ 副 読 本	「大人字にかわる ペン字練習帳」 新星出版社			

令和5年度 シラバス

学 科 ・ 学 年	選 択 科 目		年
科 目 名	応用文章技能	科 目 区 分	一般科目 ・ 専門科目
開 講 期	前期 ・ 後期 ・ 通年	担 当 教 員	池内 啓
時 間 数	前期： 時間 / 後期：15時間	実務経験：	
科 目 の 目 的 と 講 義 内 容	学生生活で求められるレポートや就職活動における履歴書・エントリーシート、作文に直結する文章表現力を身につけるとともに、社会人となっても必要とされる実践的文章力の習得を目指す。		
目 指 す 検 定 ・ 資 格	特になし		
指 導 方 法 及 び 学 生 に 期 待 す る こ と	書こうとする文章の主題に基づき、文章を構成する「素材」を集めるための取材技法の習得・あるいは論理的に構成することに重点を置き、事実、数字、エピソードの3つの要素により、読み手に対し伝えたいこと・思いが伝わる「説得力」のある文章が書けるようにする。また、文学作品などから例文を示し、文章表現の多様さを学ぶ。		
そ の 他			
	後 期		
授 業 の 概 要	5W1Hに即しながら文章のアウトラインを作成する手順を指導。文章構成のポイント、分かりやすい文章を書くための表現上のポイントを説明しながら、文章を書かせ、添削をしながら文章技法の上達を促す。		
到 達 目 標	書き手の意図を第三者である読み手に分かりやすく伝えられるよう、正確な日本語を使い、論理的で明快な文章をまとめることができるようにする。		
成 績 評 価 方 法	期末試験（作文：60%）授業態度（35%）出欠席（5%）で評価をつける。		
テ キ ス ト ・ 副 読 本	教師が作成したスライドに基づき講義する。 原稿用紙を用意する。		

令和5年度 シラバス

学 科 ・ 学 年	全学科		1年もしくは2年
科 目 名	フラワーアレンジメント	科 目 区 分	一般科目・専門科目
開 講 期	前期・後期・通年	担 当 教 員	永宗 教子
時 間 数	前期：時間 / 後期：15時間	ホテルビジネス専門学校からホテル業界に就職して実務経験を積む。フラワーデザインの資格をいかし講義を始め、幅広くデザインができるように指導している	
科 目 の 目 的 と 講 義 内 容	フラワーデザインの基本的な知識。 形や構成をテーマにして表現する。		
目指す検定・資格			
指 導 方 法 及 び 学 生 に 期 待 す る こ と	毎回デザインの構成理論を踏まえた上で作品を構成し 植物の知識を伝えながら指導する。 花に対する興味を持たせる。		
そ の 他			
	後期		
授 業 の 概 要	<ul style="list-style-type: none"> ・花の取り扱い方 ・花の基本形態の修得 ・装花、ミニブーケ、アクセサリーとして身に着ける花の製作 		
到 達 目 標	<ul style="list-style-type: none"> ・基本形態を理解し、クリスマス用装花（リース、卓上）の完成させる 		
成 績 評 価 方 法	作品(90%) 授業態度(5%) 出席率(5%)		
テキスト・副読本			

令和5年度 シラバス

学 科 ・ 学 年	選択授業		
科 目 名	世界事情	科 目 区 分	一般科目 ・ 専門科目
開 講 期	前期 ・ 後期 ・ 通年	担 当 教 員	
時 間 数	前期：時間 / 後期：15 時間		
科 目 の 目 的 と 講 義 内 容	<p>本講義の目的は、グローバル社会に発展していく時代にあつて、将来的に、日本だけでなく海外との関係性、あるいは地球規模のレンジで仕事をしていくことが求められる、Z 世代に対して、自国の習慣や考えだけにとらわれることなく、他国の習慣・文化に共感し、異文化間での協力関係を構築する素地を身に付けさせることである。</p> <p>ワークショップ形式で、実際に異文化の人間に自分になりきることによって、その視点から今までの自分を俯瞰的に見、南北格差・環境・紛争・貧困など、地球上で起こっている諸問題を自分ごととして深掘りしていく。</p>		
目指す検定・資格	特になし		
指 導 方 法 及 び 学 生 に 期 待 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ・教材をもとにしたワークショップ形式での授業の中で、実際に異文化や異文化コミュニケーションを体験し、異文化を理解し、共感する姿勢を身につけ、世界の問題を自分ごととしてとらえられる力を養う。 ・ワークの中で気づいたことや視点をきちんと言語化し、グループのメンバーと協働し、自分たちの問題としての問題意識を持つ。 ・異文化間、地球規模のレンジで物事を考える視野の広さを身に付ける。 		
そ の 他			
	後 期		
授 業 の 概 要	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークショップ版「世界がもしも 100 人の村だったら (第 6 版)」を用い、実際に身体を使いながら、世界の「多様性」、「差異」を体感し、異文化理解に落とし込んでいく。 ・「貿易ゲーム」を行い、世界の富と資源の移動について、考えさせる。 ・「SDGs」のインクルーシブの概念を提示し、「世界がもし 100 人の村だったら」と「貿易ゲーム」での気づきを踏まえて、自分たちの世界の未来像を描かせる。 		
到 達 目 標	<ul style="list-style-type: none"> ・教材をもとにしたワークショップ形式での授業の中で、実際に異文化や異文化コミュニケーションを体験し、異文化を理解し、共感する姿勢を身につけ、世界の問題を自分ごととしてとらえられる力を養う。 ・ワークの中で気づいたことや視点をきちんと言語化し、グループのメンバーと協働し、自分たちの問題としての問題意識を持つ。 ・異文化間、地球規模のレンジで物事を考える視野の広さを身に付ける。 		
成 績 評 価 方 法	期末レポート (45%)、課題レポート (50%)、出欠席 (5%) で評価をつける。		
テ キ ス ト ・ 副 読 本	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークショップ版「世界がもしも 100 人の村だったら (第 6 版)」(開発教育協会) ・「新・貿易ゲーム 経済のグローバル化を考える」(開発教育協会・かながわ国際交流財団) ・JICA 地球ひろば https://www.jica.go.jp/hiroba/teacher/material/sdgs.html 		

令和5年度 シラバス

学 科 ・ 学 年	卒業年次学年		
科 目 名	ライフデザイン学	科 目 区 分	一般科目 ・ 専門科目
開 講 期	前期 ・ 後期 ・ 通年	担 当 教 員	小田、池内、佐野
時 間 数	前期：15時間 / 後期：15時間 (学科による)	実務経験：	
科 目 の 目 的 と 講 義 内 容	専門学校で体得した知識・スキルを社会で活かしていく力を身に付け、授業を通じて自身の価値観を広げ、地域・社会の中で活かしていく。さらに、世界的に社会構造や価値観が変化している今、すべての人が次の社会の在り方に備える必要がある。攻略法ではなく周りの人との繋がり、お互いのためという考え方を養う。		
目指す検定・資格	特になし		
指 導 方 法 及 び 学 生 に 期 待 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ・教材をもとにしたワークショップ形式での授業の中で、自己理解と他社理解の力を養い、多様な価値観に触れる。 ・ワークの中で気づいたことや視点をきちんと言語化し、グループのメンバーと協働し、自分たちの問題としての問題意識を持つ。 ・自主的に発言・行動を促す学生主導型の学びとする。 		
そ の 他	実施対象学科は、診療情報管理士学科3年、国際ITシステム学科3年、公務員速修学科はのぞく。		
	前期・後期		
授 業 の 概 要	自身のルーツを振り返り、自己・他者と対話を繰り返すことで、主体的に将来を設計する。また、グローバル化の進展で激変する国際・地域社会に即応して未来を切り拓くために必要な最低限の社会常識、知識、マナー、多様な文化や価値観を学び、倫理観や総合的判断力を身につける。		
到 達 目 標	未来を考え、幸せになるための原動力、生きていくための「人間力」をつける。 <ul style="list-style-type: none"> ・自分について広く、深く理解することで自己基盤を形成する ・自己管理能力やセルフコントロール力の習得 ・困難に直面した際に乗り越えて成長の糧に変えていくための考え方を身につける ・異なる思考をもつ多様な人との対話能力の向上 ・得た知識や経験を社会へ還元する想像力を養う 		
成 績 評 価 方 法	課題(95%)、出席率(5%)で評価をつける。		
テキスト・副読本	<ul style="list-style-type: none"> ・担当教師で毎回準備をする 		